

# 令和4年度茨城県国保連合会予算概要について

## ○一般会計・業務勘定等

次期国保総合システム開発に伴う国保中央会負担金の増額及び新型コロナウイルスワクチン接種業務の手数料収入増に伴うICT積立金の増額等により、9,256,796千円（対前年比+270,340千円、3.0%増）の予算となる

会計別	当初予算		比較 (①-②)	対前年比	主な歳出の増減理由
	令和4年度 ①	令和3年度 ②			
	千円	千円	千円	%	
一般会計	629,852	657,400	△ 27,548	△ 4.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計関連システム機器更改による備品購入費及び減価償却積立金の増+68,232千円</li> <li>・一般会計で管理する会務運営積立金の他会計繰出の減△82,905千円（今年度は、他会計での機器更改経費に不足がないため）</li> <li>・退職手当積立金の減△9,531千円（職員の人事異動によるもの）</li> </ul>
診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)	2,147,118	1,691,629	455,489	26.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種業務手数料及び審査支払手数料収入増に伴うICT積立金の増+259,299千円</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種業務の受託に伴う委託料等歳出経費の増+74,032千円</li> <li>・次期国保総合システム開発に伴う国保中央会負担金の増+193,978千円</li> <li>・一般会計繰出しの増+75,070千円（財務会計関連システム機器更改経費は、新型コロナウイルスワクチン接種業務手数料収入を財源とする）</li> <li>・減価償却、システム導入積立金の減△83,025千円（国保総合システム関連機器の積立てがR3で終了したため）</li> </ul>
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)	1,321,802	1,250,588	71,214	5.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査支払手数料収入増に伴うICT積立金の増+66,295千円</li> <li>・次期国保総合システム開発に伴う国保中央会負担金の増+66,110千円</li> <li>・電算処理委託料の減△9,402千円（値引き交渉による減額）</li> <li>・減価償却、システム導入積立金の減△22,992千円（国保総合システム関連機器の積立てがR3で終了したため）</li> </ul>
特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	1,816,959	1,819,612	△ 2,653	△ 0.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者NWファイアウォール機器更改による備品購入費の増+1,815千円</li> <li>・財政調整基金積立金の減△5,370千円（収支のバランスから減額となるため）</li> </ul>
妊婦・乳児健康診査委託料審査支払事業特別会計	1,877,630	2,089,629	△ 211,999	△ 10.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査費支出金（受入金）の減△220,632千円（過去数年間の伸び率から推計）</li> </ul>
介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)	270,346	289,781	△ 19,435	△ 6.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費の減△8,072千円（職員の人事異動によるもの）</li> <li>・退職手当積立金の減△4,641千円（職員の人事異動によるもの）</li> </ul>
障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)	118,079	114,042	4,037	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者NWファイアウォール機器更改による備品購入費の増+908千円</li> <li>・取扱い件数の増に伴う国保中央会負担金の増+2,440千円</li> </ul>
第三者行為損害賠償求償事務処理業務特別会計	893,006	950,506	△ 57,500	△ 6.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者行為損害賠償金支出金（受入金）の減△60,000千円（過去数年間の伸び率から推計）</li> </ul>
職員退職手当特別会計	182,004	123,269	58,735	47.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退職手当の増+68,018千円（定年退職者：前年度1名→今年度4名）</li> </ul>
一般会計・業務勘定等計	9,256,796	8,986,456	270,340	3.0	

○支払勘定

国保被保険者数の減少、新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響により、863,893,501千円（対前年比△5,967,768千円、0.7%減）の予算となる

会計別	当初予算		比較 (①-②)	対前年比	主な歳出の増減理由
	令和4年度 ①	令和3年度 ②			
審査支払特別会計 (国保)	千円 181,631,510	千円 189,000,904	千円 △ 7,369,394	% △ 3.9	・過去数年間の伸び率から推計
” (公費負担医療)	3,576,785	2,994,818	581,967	19.4	・過去数年間の伸び率から推計
” (医療福祉費)	7,237,245	8,027,129	△ 789,884	△ 9.8	・過去数年間の伸び率から推計
” (出産育児一時金)	722,376	900,006	△ 177,630	△ 19.7	・過去数年間の伸び率から推計
” (健康保険)	9	9	0	0.0	
” (抗体検査等費用)	1,164,587	1,486,229	△ 321,642	△ 21.6	・過去数年間の伸び率から推計
支払勘定 後期高齢者医療事業関係業務 特別会計(後期高齢者医療)	334,787,332	342,637,144	△ 7,849,812	△ 2.3	・過去数年間の伸び率から推計
” (公費負担医療)	928,145	776,189	151,956	19.6	・過去数年間の伸び率から推計
” (歯科健康診査)	44,006	0	44,006	0.0	・前年度実績より推計(令和3年度からの新規受託業務)
介護保険事業関係業務特別会計 (介護給付費)	239,700,975	239,829,793	△ 128,818	△ 0.1	・過去数年間の伸び率から推計
” (公費負担医療)	2,970,033	2,975,913	△ 5,880	△ 0.2	・過去数年間の伸び率から推計
障害者総合支援法関係業務等特別会計 (障害介護給付費)	66,238,637	59,200,433	7,038,204	11.9	・過去数年間の伸び率から推計
” (障害児給付費)	15,635,065	12,775,906	2,859,159	22.4	・過去数年間の伸び率から推計
支払勘定計	854,636,705	860,604,473	△ 5,967,768	△ 0.7	
総合計	863,893,501	869,590,929	△ 5,697,428	△ 0.7	